

# 週報

国際ロータリー第 2660 地区

平成 30 年 10 月 16 日

第 2821 回例会

第 2404 号



インスピレーションになろう

## 豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2018～19 年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン  
BE THE INSPIRATION

Rotary



2018.7～2019.6

会 長 武枝敏之  
副 会 長 谷野桂子  
幹 事 矢口正登  
雑誌・広報・会報委員長  
森本博明

本日（10 月 16 日）のプログラム

「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第 2660 地区

ガバナー 山本博史様



次回（10 月 30 日）のプログラム

「研究成果：無電極水晶振動子バイオセンサを用いたアミロイド  $\beta$  ペプチド線維化の粘弾性評価システムの開発」

豊中 RC 奨学生

Lai, Yen-Ting

国際ロータリー第 2660 地区 ガバナー

山本 博史 (Yamamoto Hiroshi)

プロフィール

生年月日 1953 年（昭和 28 年）9 月 14 日  
大阪南 RC 入会日 1988 年（昭和 63 年）6 月 7 日  
職業分類 食品工業  
勤務先 株式会社 小倉屋山本  
役職 代表取締役社長  
所在地 大阪市中央区南船場 4 丁目 10 番 26 号  
経歴 1977 年慶応義塾大学経済学部卒業  
同 株式会社第一勧業銀行入行  
(現 みずほ銀行)  
1981 年 株式会社小倉屋山本  
代表取締役社長  
2017 年 現在に至る  
ロータリー歴 1988 年 6 月 7 日大阪南 RC 入会  
2000～2001 年度 幹事  
2008～2009 年度 副会長  
2010～2011 年度 会長エレクト  
2011～2012 年度 会長  
2012～2013 年度 直前会長  
2013～2014 年度 会員選考委員長

その他

ロータリー財団 メジャードナー  
ロータリー財団 ベネファクター  
ロータリー財団 ポール・ハリス・ソサエティ  
ロータリー米山記念奨学会 米山功労者 マルチプル



### RI 第 2660 地区

2005～2006 年度 地区幹事  
2006～2007 年度 地区代表幹事  
2007～2008 年度 財団奨学金・学友委員  
2012～2013 年度 財団 FVP 委員  
2013～2014 年度 R 財団地区補助金  
グローバル補助金担当グループ委員  
2014～2015 年度 財団補助金小委員会  
地区補助金・グローバル補助金  
担当グループ委員  
2015～2016 年度 R 財団委員会 資金管理小委員会  
委員長

賞罰

2005 年 5 月 産業功労者 受賞

**四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか**

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内  
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例会日時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事務局：10 時～16 時（土日祝を除く）

HP アドレス：[www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/](http://www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/)

メールアドレス：[jtrc2660@sun-inet.or.jp](mailto:jtrc2660@sun-inet.or.jp)

☆ 例会出席報告 ☆

	第2820回	第2817回
例会日	10月9日	9月11日
①会員数 A	36	36
(内出席免除者)	5	5
②出席義務者数	31	31
③出席義務者出席数	22	23
④出席免除者出席数	5	2
⑤メイクアップ数		5
⑥出席義務者欠席数	9	8
出席率 %	75.00%	84.85%

出席率(前回) = ③+④/②+④ 出席率(前々々回) = ③+④+⑤/②+④

○ 幹事報告 ○

- ・国際ロータリー第2660地区より  
「ガバナー月信に関するアンケート」が届きました。  
「IM第1組会長・幹事会現況報告記入のお願い」が届きました。  
「2019-20年度地区委員会出向者推薦のお願い」が届きました。  
「第3回IM第1組会長・幹事会及びFR交流会のご案内」が届きました。  
「ロータリー国際大会ハンブルク(ドイツ)に関するアンケート」が届きました。

☞ 掲示板 ☞

- ・ガバナー公式訪問 本日  
日 時：10月16日(火) 例会時  
場 所：ホテルアイボリー3F 例会場  
※理事・役員様におかれましては11:30より「さくらの間」に於いて事前懇談会があります。
- ・職場見学と秋の家族会  
日 時：10月18日(木) 12時30分集合  
場 所：大阪医科大学の関西 BNCT 医療センター  
アサヒビール吹田工場の見学  
懇親会：“プレスキル” フランス料理店  
淀屋橋オドナビル2階 [Tel:06-7506-9147](tel:06-7506-9147)

※10月23日(火)は例会休会となります。

- ・第5回定例理事会開催  
日 時：11月6日(火)  
場 所：ホテルアイボリー 「例会場」
- ・“トーク in さくら” 開催  
日 時：11月15日(木) 18:00~  
場 所：ステークハウス神楽 豊中店  
豊中市小路2-8-3 [Tel:06-6850-2983](tel:06-6850-2983)
- ・第6回定例理事会と年次総会  
日 時：12月4日(火)  
場 所：ホテルアイボリー 「例会場」

- ・地区大会 2018年12月7日(金)・8日(土)  
1st day 於：大阪国際会議場  
13:00~13:20 大会決議案上程/規定審議会  
13:20~15:00 会長・幹事懇談会/奨学生発表  
15:15~17:15 特別講演「ロータリーの柔軟性  
Flexibility と多様性 Diversity」  
特別対談  
「これからのロータリーを考える」  
於：リーガロイヤルホテル  
18:00~20:30 RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
2nd day 於：リーガロイヤルホテル  
10:30~10:50 記念撮影  
11:00~12:00 顕彰昼食会  
於：大阪国際会議場  
12:15 友愛の広場  
「インスピレーションに会おう！」  
12:30~ オープニングセレモニー  
13:00~17:30 本会議

いざ友よ

作詞：星野哲郎 作曲：芥川也寸志

おお ロータリー ロータリー  
我らが一つ 手に持つ鍵が  
奉仕の扉を 開ける  
街のどこかで 生まれるほほえみを  
心の糧に 貫く愛を  
互いに支えゆかん いざ友よ

おお ロータリー ロータリー  
夫々の手で 夫々の場で  
奉仕の灯りを かざし  
共に汗して 分かちあう喜び  
廻そう友よ 広げよう友よ  
地球は共に生きる 星なれば

唱歌担当：豊島了雄

◎副幹事・副SAA当番◎

10月副幹事	山形 進	会員
10月副SAA	小牧義昭	会員
11月副幹事	渡 達也	会員
11月副SAA	奈須正典	会員

## 10月16日 会長の時間

2018-19年度 会長 武枝敏之

本日はR I 2 6 6 0地区ガバナー山本博史さまをお迎えしております。

クラブ現況に山本様のご就任のご挨拶が掲載されております。①ロータリーの目的と行動指針②戦略的目標について③第2660地区の2018-19年度の方針が掲載されております。

本年度の最重点目標は、クラブ会員の増強を第一に掲げております。トークインさくらでも話し合いを持ちました。

会員を増やすことだけがクラブの求めるものでなく、組織の強化のほうが大切だ。とか、退会防止に必要なことは何かなどの意見がありました。

どのご意見も正しいと考えます。しかし、クラブの事業を遂行するためにもやはり会員増強は必要であると思われま。国際ロータリーから様々なメールが届きます。その中の一つに、「若い世代の職業人に魅力的な5つの価値とは」というタイトルの記事がありました。

豊中ロータリークラブでは、若い会員が少ないと思われま。

投稿者はボーカラトーン・ロータリークラブ(米国フロリダ州)のワルストロムさんです。

ロータリークラブへの入会と維持のカギは、ロータリーの価値を明確に表す「バリュープロポーション」の提示である。会員が満足できる価値を提供しなければならない。とワルストムさんは述べています。

若い世代の職業人がクラブに求める5つの価値とは。

- ① 家族との時間
- ② 先輩会員から学ぶ機会
- ③ ネットワーク作り
- ④ 時間とお金 (時間的、経済的制約の柔軟性)
- ⑤ リーダーシップ

私たちは、できるだけ若い会員の加入を考えて、行動すべきです。何が、入会を妨げるのか各自考える必要があると思いま。

当初より皆様をお願いしております、会員各自1年を通して必ず一人のゲストをお招きして、豊中ロータリークラブを見ていただき、ロータリーの良さを体験していただけるよう皆様のご協力をお願いします。

## ☺10月9日のニコニコ箱報告☺

- ・誕生日祝いを頂いて 北村、戸部各会員
- ・結婚記念日祝いを頂いて  
中井、田中、森本、松山各会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて  
村司会員
- ・入会記念日祝いを頂いて  
木村会員



- ・上期の売上げが支店日本一になりました。松本会員
- ・ゴルフコンペ及び懇親会への多数のご参加有難うございました。武枝会員
- ・ゴルフコンペ優勝有難うございました。松宮
- ・ゴルフコンペ二位有難うございました。松本会員
- ・ゴルフコンペ三位有難うございました。木村会員
- ・ゴルフコンペ BB 有難うございました。小牧会員
- ・ゴルフ懇親会欠席のお詫びと賞のお礼 佐川会員

### ☆10月受付当番☆

チーフ：西蔵会員

10月16日 渡 達也、松本拓朗各会員

### 唱歌担当：

- ・10月30日「見上げてごらん夜の星を」小川会員
- ・11月6日「週に一度の」森本会員

「米山月間に因んで」

米山奨学委員会 副委員長 戸部義人

今月は米山月間なので、さまざまな数値から見たロータリー米山記念奨学事業の現状について紹介する。

まず、米山奨学事業の概略を説明する。本事業は、勉学や研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として奨学金を支給し支援する民間では最大の国際奨学事業である。1967年に財団法人としての許可を受け、2012年に公益財団法人に移行した。これまでに世界の124の国・地域出身の19,197人の外国人留学生を支援してきた。その歴史は50年以上前に遡る。戦後の復興が続く1952年に、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立され、1954年にタイから第1号の奨学生を招聘した。米山記念奨学金の創設の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に「平和日本」の理解を促すことにあった。半世紀を経た今日でも平和と国際理解の推進という目的に変わりはない。

奨学金の種類には7つのカテゴリーがあるが、ほとんどを占めているのは学部、大学院修士・博士を対象としたもので、それぞれ月額10万円、14万円が支給される。公的な奨学金制度がないと言ってよい修士課程の留学生にとっては貴重な事業だと思われる。寄付金には、各クラブが決めた金額×会員数による「普通寄付金」と、主に個人や法人の任意の寄付による「特別寄付金」があり、その合計の2017年度の一人当たり全国平均額は16,068円である。2660地区の個人平均寄付額は26,424円で全国の2位にあるが、当クラブのそれは21,138円で現時点では2660地区82クラブ中の45位あたりに位置（やや低迷？）している。

地区の奨学生数は、寄付金総額(50%)と個人平均寄付額(30%)、特別寄付者割合(10%)を主な算定基準として割り当てられ、同様の基準に基づき地区内で各クラブに割り当てられる。このように特別寄付金は奨学生のクラブへの割り当てに大きな割合を占めている。当クラブでは独自の奨学生制度を設けて大阪大学の外国人留学生との交流と相互理解に力を入れているという点からも、米山奨学金への寄付に対して皆様の一層のご協力を賜りたい。

米山奨学生数は、2000年頃の約1,100名をピークに減少している。2005年度からは800名に減らしたが、2009年度から寄付金収入が事業費を下回るようになったため、2010年度と2011年度は特別積立資産を取り崩して800名を維持した。しかし、理事会で決めた取り崩し限度額に達したため、2013年度からは700名に減らした。その後、寄付金収入が増加傾向に転じたため奨学生数を増やしつつあり、2018年度は820名、2019年度はさらに850名に増やす。奨学生の出身国別の分布をみると、中国の33%が最も多く、韓国(23%)、台湾(18%)と東アジアの近隣諸国が4分の3を占め、これにマレーシア、ベトナム等の東南アジア諸国が続く。大学別では、東京大学の903人を筆頭に、筑波大学(606人)、大阪大学(539人)などとなっている。博士の学位取得者は3,568人にもものぼり、学問分野別の内訳は工学の1,127人、医歯薬系976人、農学488人と続く。

米山記念奨学事業の2017年度の事業費はおよそ14億円で、そのうち11億6,808万円が奨学金に用いられ、2億3,698万円が地区への補助金や人件費等の事業運営費に用いられている。2018年度の収入は14億6,459万円、支出が16億4,077万円、収支差額が1億7,618万円の赤字予算となっている。しかし、「奨学事業安定積立資産」から1億1,883万円を収入に加えるため、赤字は5735万円に減る見込みである。公益法人は剰余金が発生した場合に「特定費用準備資金」を保有することが内閣府により認められている。米山記念奨学会ではこれを「奨学事業安定積立資産」という名称で設定し、2015年度から剰余金の積立を行っている。2017年度の積立金は8億203万円であり、2018年度から毎年約1億円ずつ取り崩して奨学事業を進めて行くことになっている。

最後に、昨年の卓話の続編として、2018年9月26日からの8回に分けて朝日新聞に掲載され、さらに10月7日の日曜版にも特集として掲載された日本の科学力の後退に関する記事の紹介と概要を説明し、問題提起をした。先日、NHKが有権者に対して行った政権に期待することに関するアンケートにおいても、教育への投資という項目が出てこないことが根本的な問題であろう。

引用：

米山学友の群像 Vol. 5 (2017.3月)、ロータリー米山記念奨学生事業 豆辞典 2018-2019年度版、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 2017年度決算報告書 朝日新聞 2018年9月26、27、28日および10月7日版